

特集

『絵入りロンドン新聞』にみる

1851年ロンドン万国博覧会



水晶宮前景



水晶宮 アメリカ・コーナー

(上) Illustrated London News, Vol.18, no.482(3 May 1851)

(下) Dickinsons' Comprehensive Pictures of the Great Exhibition
of 1851, Vol.1, Dickinson, Brothers, 1854.

CONTENTS

- 図書館長就任にあたって 図書館長 松尾正人
- 図書館活用術 — 論文・レポート作成の準備 —
- 特集 『絵入りロンドン新聞』にみる 1851年ロンドン万国博覧会 文学部教授 見市雅俊
- 学部長、オススの一冊
- 新収資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録(2014.7～2014.10 収集分)

図書館長就任にあたって

図書館長 松尾 正人 (文学部教授)



見市雅俊館長の後を承けて、思いもかけない図書館長の大役を、お引き受けすることになりました。図書館の閲覧室や書庫には頻りに通っていましたが、それは一利用者という立場でしたので、今は驚き戸惑うことばかりです。図書館をはじめ大学関係者の皆さん、大学院生や学部生諸君の協力を得て、重責を果たせることを願っています。

中央大学の歴史を振り返ると、充実した図書館の設置は、明治18(1885)年以降の目標だったようです。同年設立の英吉利法律学校は、「法律書庫」の開設を強調しています。しかし、明治25年の神田大火で校舎が火を被り、「高橋法律文庫」を焼失。大正6(1917)年にもやはり校舎が全焼する事態に直面して、ビルクマイヤー文庫を失いました。その二度の失敗から、図書館をコンクリート造りとし、大正12年の関東大震災では被害を免れ、蔵書を守ることができたようです。

現在の中央大学の図書館は、多摩キャンパスの中央に位置する中央図書館と後楽園キャンパスにある理工学部分館を中心に構成され、英吉利法律学校以来の伝統はもとより、総合大学としての充実した施設となっています。蔵書は社会・人文・自然科学などのあらゆる分野にわたり、まさに知の殿堂といつてよいでしょう。中央図書館の書庫には、海外の書籍はもとより江戸時代の古文書などが所蔵されています。貴重な書籍や古文書を手にした時、その感動は少なくないはずです。それらの閲覧・利用をサポートするレファレンスルームも充実しています。

近年はインターネットの時代。電子資料のより一層の充実や利用環境整備が急務なことはいまでもありません。中央大学の図書館が、多くの学生諸君の利用する学修・研究の場であり続け、誇りに思ってもらえることを願っています。

図書館 活用術

論文・レポート作成の準備



1 論文・レポートの書き方に迷ったら…



論文やレポートの作成に関する入門書を参考に、作成手順や形式等の基本ルールを理解しておきましょう。以下に一例を紹介します。このほかにも、開架閲覧室で分類番号816.5や407(自然科学系)の書棚に、同様のテーマの図書がたくさんあります。

- ❖『レポート・論文の書き方入門』第3版
(河野哲也、慶應義塾大学出版会、2002) [開架・理開 816.5/Ko76]
- ❖『論文の教室：レポートから卒論まで』新版
(戸田山和久、NHK出版、2012) [開架・理開 816.5/To17]
- ❖『大学生のためのレポート・論文術』新版(小笠原喜康、講談社、2009)
[開架新書 講談社現代新書/2021、理開小型 816.5/O22]
- ❖『理科系の作文技術』改版(木下是雄、中央公論社、2002)
[開架新書 中公新書/624、理開小型・理開指定 407/Ki46]



図書に貼ってあるラベルの一段目に、テーマを表わす「分類番号」が記入してあります。

CHOISで図書館の蔵書を検索してみよう!

中央大学図書館の約230万冊の蔵書を「蔵書検索システムCHOIS(チヨイス)」を使って探してみよう。



図書館ホームページの「蔵書検索CHOIS」から、利用することができます!



2 資料を集める

レポートのテーマを理解する、テーマを絞る

あるテーマや事柄の概要を調べたいときは、百科事典や人名・地名事典、専門事典、ハンドブックなどの「参考資料」を使ってみましょう。各項目に掲載の参考文献を手がかりに調査を進めていくこともできます。また、教科書や『〇〇入門』『〇〇概説』などの「図書」もテーマの理解に役立ちます。

類似の先行研究を探す

先行研究を調べたいときは、その分野の「雑誌」にあたり、掲載論文の中から必要なものを収集しましょう。一連の研究論文をまとめて図書として刊行されていることもあります。

雑誌論文を調べるには、データベース「CiNii Articles」が役立ちます。(右下参照)

データを集める

官公庁や研究所等の統計資料や調査報告書、新聞から根拠となるデータを探しましょう。そのほか、雑誌記事や専門書にデータがまとめられていることもあります。

資料の主な配置場所

中央図書館

4階 開架閲覧室「図書」「白書」

2階 レファレンスルーム「参考資料」

(辞書・事典、統計資料、書誌・索引類)

雑誌・新聞コーナー「新聞」「雑誌」(最近刊行のもの)

1階 閉架書庫「専門書」「雑誌のバックナンバー」他

※1階閉架書庫の資料は、学部学生は2階カウンターで請求してください。

理工学部分館

6階 参考図書コーナー「参考資料」

閉架書庫「専門書」「雑誌のバックナンバー」他

展示雑誌・新聞コーナー「新聞」「雑誌」(最近刊行のもの)

5階 開架閲覧室「図書」など(専門書などは6階閉架書庫)

※6階閉架書庫の資料は、学部学生は6階カウンターで請求してください。

3 執筆する

個人で学習したい人は？

閲覧席は自由に利用できます。

◆中央図書館3・4階(約1700席)/理工学部分館5階(約500席)

PCを使ってレポート作成や情報収集などの学習をするときは

◆中央図書館3階 **情報リテラシールーム CITRAS (シトラス)**

◆理工学部分館6階 **マルチメディアワークスペース (図書館PC室)**

グループで学習したい人は？

グループでPCやプロジェクター等を使い、ディスカッションしながら学習できます。

◆中央図書館4階 **グループパフォーマンスルーム**

(貸出用PC、電子白板、プロジェクター利用可)

◆中央図書館3階 **グループ読書室**(持ち込みPC、プロジェクター利用可)

◆理工学部分館6階 **マルチメディアワークスペース (グループ学習室)**

データベースを活用しよう！

キーワード検索することで、膨大な情報の中から欲しい情報をすばやく検索、入手できるデータベース。レポート作成のあらゆる場面で役立ちます。今回は2つ紹介します。

■百科事典や語学辞典、時事用語辞典等

Japan Knowledge Lib

■雑誌論文(学術雑誌や紀要掲載論文)

CiNii 日本の論文をさがす Articles

図書館ホームページの「データベース検索」から、利用することができます！



4 図書館員に相談する

図書館員に相談してみよう！

資料のさがし方がわからなかったり、読みたい本が見つからない場合は、**レファレンス・カウンター**で相談することができます。図書館員が、皆さんの質問や相談を受けて、必要な文献、資料を探す方法や手段をアドバイスします。(中央図書館2階/理工学部分館6階)

また、中央図書館では、学生アドバイザーの**CHOISアドバイザー**、**CITRASスタッフ**が図書館の利用方法やデータベースの使い方について、皆さんの質問に答えてくれます。

講習会・見学ツアー・授業を活用しよう！

図書館では、図書館の利用方法を見学しながら紹介する「図書館ツアー」、データベースの使い方を学べる各種講習会などを開催しています。実施日等の詳細は、図書館ホームページのイベント情報をチェックしてみてください！

もっと情報のさがし方、活用方法を身につけたい人は、授業科目『学術情報の探索・活用』を履修しよう(多摩キャンパスで実施、前期・後期、定員各40名)



特集

『絵入りロンドン新聞』にみる 1851年ロンドン万国博覧会

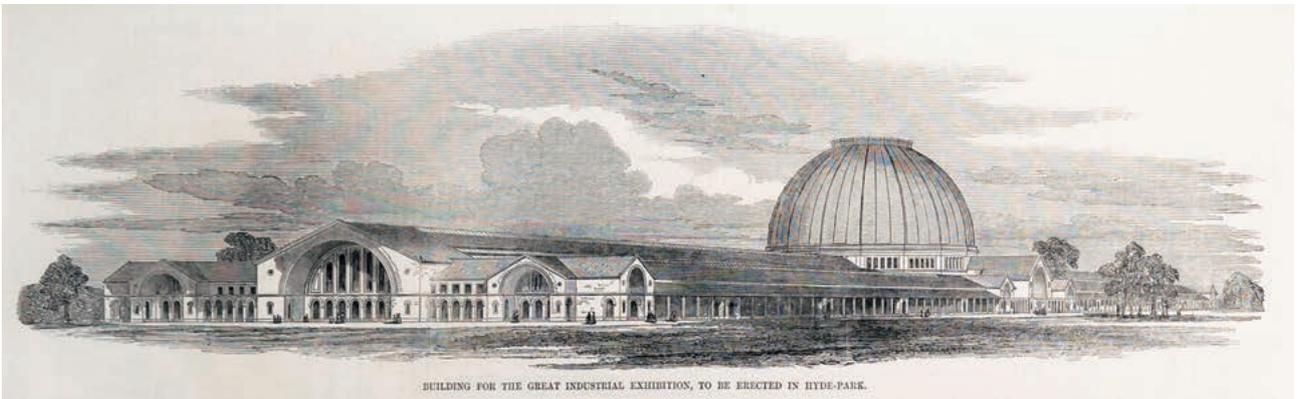
見市 雅俊 (文学部教授・前図書館長)

数多あるグローバルな催し物の先駆的な存在として、万国博覧会を挙げる事ができる。その栄えある第1回は、1851年、ロンドンのハイド・パーク内に建設された「水晶宮」において開催された。この万博にまつわる二つのテーマについて、本学が所蔵する『絵入りロンドン新聞 (Illustrated London News)』 (以下、ILN) をみることにしよう。

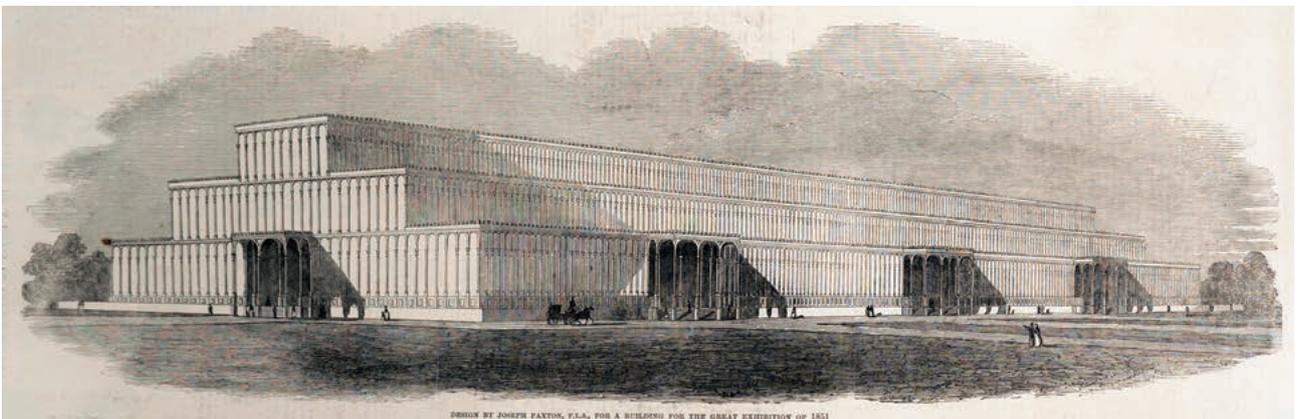
まず、水晶宮。1850年1月、ヴィクトリア女王の夫君、アルバート公を総裁とする、万博開催に向けての「王立委員会」が設置され、その下に会場施設を検討する「建築委員会」がもうけられた。同委員会は、多数の応募作品があったにもかかわらず、最終的には委員会自身のプランを提案した。図一①は、1850年6月22日号のILNに掲

載されたその完成予想図である。みてのとおり、ありきたりのレンガ造りの建物案であり、しかも費用がかさみ、工事期間も長くなることが予想された。そこに、さっそうと登場したのがジョセフ・パクストンである。ILNの7月6日号はそのプラン (図一②) を掲載。結局、このパクストン・プランが採択されたのであった。

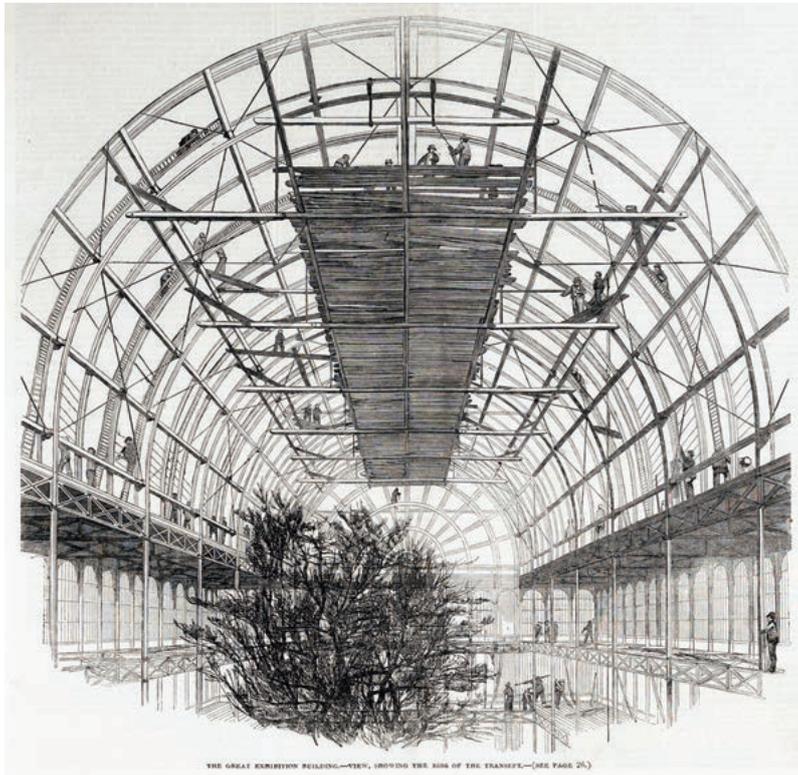
ベースは温室である。パクストンは、ダービシャー州の「チャッツワース・ハウス」(Chatsworth House) に壮大な温室を建てたことで知られていた。それを、このように壮麗な建造物の構想へと昇華させたのである。高名な美術史家、ペヴズナーのことはをかりれば、それは「いかなる建築的伝統からもまったく独立した、論理的な構造の



図一①



図一②



図一③

勝利であった。」工法も革新的だった。あらかじめ製造されたガラスと鉄の規格化された部品が建築現場にもちこまれ、「機械の部品」のようにして効率よく組み立てられたのである。ILNは、工事の進捗状況を図一③のように図入りで逐一報道することによって万博の前景をおおいに煽ったのだが、それも、当時としてはまことに斬新であり、それゆえ「絵になる」工法だったからこそのことであった。反万博派の抵抗のシンボルだった、会場予定地内の2本の楡の巨木も伐採されずに、そのまま会場の内部に取り込まれた。図一③の下方にその頭部がみえる。完成した水晶宮については、表紙を参照。

こうして、1851年5月1日、万博はその幕を開けた。10月中旬までの開催期間中の入場者数はおよそ600万人。ヴィクトリア女王の場合、開会式の後も、30回近くも水晶宮に通ったと伝えられる。東京ディズニーランドのリピーターにかなり近いノリだろうと想像される。水晶宮は、資本主義社会の「冷たい」現実を遮断したうえでの、その体制の「いいとこどり」の、まさに夢の温室だったのである。そして、吉田光邦氏が強調するように、その後の万博の歴史を飾る数々の建物も、その大部分が水晶宮の「延長」線上にある。全体の運営も併せて、このロンドン博において「万国博覧会」というものの型がすでにしっかりと

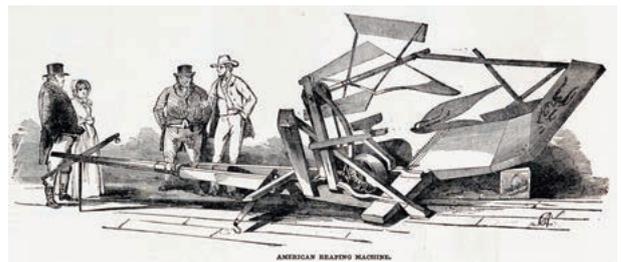
出来上がっていたのである。

つぎに、19世紀中葉、イギリスは世界の製造業生産量のおよそ5分の1前後を占めていたと推計され、万博は、そのようなイギリスの経済力を国の内外に誇示する絶好の機会となった。しかしながら、今日の経済史研究に従えば、イギリスを含む先進国の製造業全体が本当の意味で「機械化」されるのは、1870年代以降のことなのである。日本が先進諸国に追いつくことができたのも、その背中がまだ辛うじてみえる、ぎりぎりの段階で明治維新を断行できたからだ。そして、このロンドン博の段階では、アメリカはなお農業国であり、実際、水晶宮内のアメリカ・コーナー（表紙参照）の展示も食料品や原材料が中心になったのだが、たいへん興味深いのは、この新興国が、やがて到来する本格的な機械化の時代の中心的な存在になることを予告する場面がみられたこと

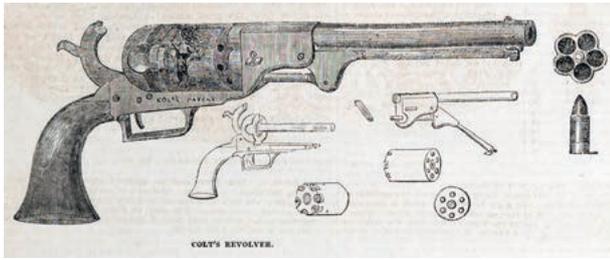
である。

1851年5月31日のILNは、世界の隅々にまで交易を展開するイギリスだからこそ、このような万博も可能になったとしたうえで、そのような海洋国家としてのイギリスの「聖なるミッション」に唯一、対抗しようとしているのがアメリカだとした。しかるに、8月22日、万博を記念してワイト島において開催されたヨット・レースにおいて、ニューヨークのヨット・クラブ所属の「アメリカ号」がぶちぎりで優勝してしまったのである。もうひとつの海洋国家の鮮烈なデビューであり、世界でもっとも権威あるヨット・レース、「アメリカズカップ」(America's Cup)の起源でもある。

万博の公式カタログは、次のように総括する。「アメリカには、たんなる奢侈品への巨額な出費をうながすような富の集中がなく、もっと堅実な生活の便利さを獲得する手



図一④



図一⑤

段が広く配分されており、そのことが、他の多くの国とは違う性格をアメリカの産業にあたえている。」この万博でとくに関心を集めたアメリカ製品は、つぎの三つである。

まず、マコーミックの刈取機（図一④）。7月、ある農場を借りてトライアルが実施され、マコーミックの刈取機は、万博農機具審査委員会によれば、「完璧で、その機能になんの欠陥も見つからなかった。」その後、イングランド各地で同じようなデモンストレーションが実施されたが、いずれの場合もマコーミックの刈取機は「絶賛」され、「成功」をおさめたのであった。

そして、小火器と銃前。ともに、「アメリカ的生産システム」と呼ばれた「相互交換方式」、すなわち、「(工作機械によって) 正確につくられた部品を自由にとりあつめて一個の完成品をつくる」システムによって、すでに量産されていたものである。とくにサミュエル・コルトの連発拳銃（図一⑤）はILNによって「これまでの同種類の発明を完全に凌駕した」と絶賛された。小火器の生産は、アメリカ的生産システムの中核部分であり、そこでの技術改良が他の部門にも波及したのである。「銃大国」アメリカの起源だ。

銃前。アメリカにおいて他社製の銃前をこじ開けては自

社製のを売りつけることで知られていたアルフレッド・ホップスが、この万博に出品されていたイギリスの代表的メーカーの銃前を難なくこじ開け、さらに、イギリスの伝説的な発明家、ジョセフ・ブラマーの難



図一⑥

攻不落とうたわれた銃前を、延べ51時間をかけてこじ開けてしまった。「アメリカ号」と並ぶアメリカの「勝利」であった。図一⑥は、銃前開けに挑戦するホップスの姿である。

アメリカは、旧世界の職人的伝統という過去の「しがらみ」から自由であり、機械化に対する抵抗も少なく、それがこのような早熟的機械化を可能にしたのであった。この万博の後、コルトとホップスはそれぞれ、アメリカ的生産システムを基本とする工場をイギリスにつくった。またイギリス側の専門家による、アメリカ的生産様式の詳しい現地調査もおこなわれた。このように、万博は未来を先取りする空間でもあったのだ。

図の④～⑥も、ILNに掲載されたものである。今回、当時の新聞に実際に触れてみて、「紙媒体」の資料としての有効性、さらにそれを所蔵する大学図書館の存在理由について再確認できたことを最後に強調しておきたい。

参考文献

ニコラウス・ベウスナー、『美術・建築・デザインの研究』、第2巻、鈴木博之・鈴木杜幾子訳、鹿島出版会、1980年。

〔中央書庫 702.3/P48〕

松村昌家、『ロンドン万国博覧会と水晶宮』、本の友社、1996年、(ロンドン万国博覧会(1851年)新聞・雑誌記事集成 別冊解説)。〔中央書庫 M606.9/Ma82〕

見市雅俊、「万国博の経済史」、角山栄編、『講座西洋経済史Ⅱ—産業革命の時代』、同文館、1979年。

〔中央書庫 332.3/Ko98 開架332.3/コ〕

吉田光邦、『万国博覧会』、改訂版、日本放送出版協会、1985年、(NHK ブックス、477)。〔開架 606.9/ヨ〕

図書館では、この特集にあわせて「第22回中央大学図書館企画展示：1851年 第1回ロンドン万博関係コレクション展」を開催します。この機会にぜひご覧ください。

期 間：2015年4月1日(水)～30日(木)

場 所：中央図書館 2階展示コーナー



学部長、オススの一冊

学部長の先生方に、学生時代に感銘を受けた本、今皆さんに読んでもらいたい本のなかから「この1冊」を選んでいただきました。中央図書館2階で展示します。



君たちはどう生きるか

吉野源三郎著
岩波書店 1982 (岩波文庫)

■ 学問することと生きることとの関係を考えたい。2015年のコペルさん達にオススメ。丸山眞男が著者を追悼した「回想」も外せない。



所蔵 中央小型 159.5/Y92
開架文庫 岩波文庫 / 青-158-1
理 開 159.5/Y92// キャリア99

法学部長 中島 康 予



モンテ・クリスト伯 全7巻

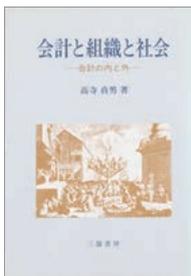
アレクサンドル・デュマ著 山内義雄訳
岩波書店 1956-57 (岩波文庫)

■ 別名『巖窟王』。読み始めると携帯の存在も忘れ、早く読みたくなる。この長編を読んで、ぜひ本好きになってください。



所蔵 中央小型 953/D96
開 架 岩波文庫 / 赤-533-1~7

経済学部長 谷口 洋 志



会計と組織と社会 —会計の内と外—

高寺貞男著
三嶺書房 1982

■ 会計は社会にどのような役割を果たすのか? この本は私が会計学研究に悩んだとき、いつも原点に立ち返らせてくれる一冊です。



所蔵 中央書庫 336.9/Ta55

商学部長 河合 久



海賊とよばれた男 上・下

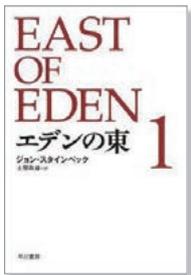
百田尚樹著
講談社 2014 (講談社文庫)

■ よく書けた小説ではありませんが、日本にもかつて貧しい時代があったこと、その中で汗を流した人々がいたから今日の日本があることに、若い世代が気付いて欲しい、そんな思いで選びました。



所蔵 開 架 913.6/H99
※単行本 (講談社、2012) を所蔵
理 開 913.6/H99

理工学部長 石井 靖



エデンの東 全4巻

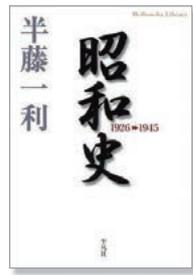
ジョン・スタインバック著 土屋政雄訳
早川書房 2008 (早川 epi 文庫)

■ 聖書のカインとアベルの物語をモチーフにして、父子の葛藤や兄弟の軋轢を描いた超大作。ジェームス・ディーン主演の映画も必見。



所蔵 開 架 933/St3 上・下
※単行本 (早川書房、2005) を所蔵

文学部長 都 筑 学



昭和史 1926-1945

半藤一利著
平凡社 2009 (平凡社ライブラリー)

■ 今年は、戦後70周年。なぜ約300万人の犠牲者を出す無謀な戦争に、日本の無責任な指導者は突き進んでいったのかを学べる。「戦後篇 1945-1989」もあわせて薦めたい。



所蔵 開 架 210.7/H29
※単行本 (平凡社、2004) も所蔵

総合政策学部長 松野 良 一

※理工学部分館では、未所蔵の図書について5月以降順次受入予定です。

中央図書館4階に「教職員推薦図書コーナー」があります。本学の教職員からのお薦めの図書をメッセージとともに展示しています。展示数は現在約50点。館内で自由に閲覧できます。こちらもぜひご覧ください。

新収資料紹介

①教職員著作目録 2014.7 - 2014.10 配架図書一覧 () は所属学部等

著者名	書名	出版社	出版年月	配架場所	請求記号
リス・ブルボー 浅岡 夢二 (法)	著 ガン・希望の書:「からだ」の声があなたに伝えるスピリチュアルなメッセージ	ハート出版	2014.6	開架	147/B67
浅倉 和俊 (商), 渡辺 竜介	著 公認会計士試験財務会計論の重点詳解 第2版	中央経済社	2014.8	中央書庫 / 開架	336.97/A85
阿部 正浩 (経), 松繁 寿和	編 キャリアのみかた: 図で見る110のポイント 改訂版	有斐閣	2014.4	開架	366.29/A12 / キャリア2 366.29/A12 / キャリア2
王志誠 新井 誠 (法)	著 台湾信託法の理論と展開	日本加除出版	2014.4	中央書庫 / 市ヶ谷法務	324.9224/O11
新井 誠 (法), 赤沼 康弘, 大貫 正男	編 成年後見制度: 法の理論と実務 第2版	有斐閣	2014.7	中央書庫 / 開架	324.65/A62
Nathan Shedroff, Christopher Noessel 安藤 幸央 赤羽 太郎, 飯尾 淳 (文) [ほか]	著 SF映画で学ぶインタフェースデザイン: アイデアと想像力を鍛え上げるための141のレッスン	丸善出版	2014.7	開架 / 社会情報	549.92/Sh14
余 華 飯塚 容 (文)	著 死者たちの七日間	河出書房新社	2014.6	開架 / 中国言語	923/Y72
飯塚 容 (文)	著 中国の「新劇」と日本: 「文明戯」の研究 (中央大学学術図書 85)	中央大学出版部	2014.8	中央書庫 / 中国言語	772.22/I28
東洋文庫中国古代地域史研究 池田 謙一 (名) ほか	編 張家山漢簡「二年律令」の研究 (東洋文庫論叢 第77)	東洋文庫	2014.3	東洋史	322.22/To82
ヘンリー・ブレイディ, デヴィッド・コリアー 泉川 泰博 (総), 宮下 明聡	編 社会科学の方法論争: 多様な分析道具と共通の基準 原著第2版	勤草書房	2014.5	中央書庫 / 市ヶ谷法務	301.6/B71
磯崎 初仁 (法), 金井 利之, 伊藤 正次	共著 地方自治 第3版 (ホーンブック)	北樹出版	2014.4	中央書庫 / 開架	318/I85
岩田 重則 (総)	著 日本人のわずれもの: 宮本常一「忘れられた日本人」を読み直す (いま読む! 名著)	現代書館	2014.7	開架	382.1/I97
上野 清貴 (商)	著 会計測定の実証と論理: 現在まで息づいている論理の解明	中央経済社	2014.8	中央書庫 / 開架	336.9/U45
大田 美和 (文)	著 大田美和の本 (現代歌人ライブラリー 2)	北冬舎	2014.6	中央書庫 / 英文	911.16/O81
大貫 裕之 (法務), 宇佐見 方宏 土田 伸也 (法務), 野口 貴公美 (法) ほか	編 事例別実務行政事件訴訟法	弘文堂	2014.4	中央書庫 / 開架	323.96/O68
大淵 博義 (名)	著 法人税法解釈の検証と実践的展開 第2巻	税務経理協会	2014.4	中央書庫	345.3/O19
大淵 博義 (名)	著 国税の常識 第16版 (知っておきたい)	税務経理協会	2014.8	開架	345/O19
奥田 安弘 (法務), 岡 克彦, 姜 成賢	著 韓国国籍法の逐条解説	明石書店	2014.6	中央書庫 / 市ヶ谷法務	329.91/O54
片桐 正俊 (経)	編 財政学: 転換期の日本財政 第3版	東洋経済新報社	2014.4	中央書庫 / 開架	341/Ka81
岸 真清 (名), 黒田 巖 (商), 御船 洋 (商) 井村 進哉 (経), 宇野 典明 (商), 谷口 洋志 (経), 田中 廣滋 (経) ほか	編 グローバル下の地域金融 (研究叢書 35)	中央大学出版部	2014.3	中央書庫 / 開架	338.6/KI56
工藤 達朗 (法務) 柴田 憲司 (法), 橋本 基弘 (法), 畑尻 剛 (法) ほか	編 憲法判例インデックス	商事法務	2014.3	中央書庫 / 開架	323.14/Ku17
工藤 達朗 (法務), 畑尻 剛 (法), 橋本 基弘 (法)	著 憲法 第5版	不磨書房 信山社 (発売)	2014.2	中央書庫 / 開架	323.14/Ku17
國本 伊代 (名)	著 ピリヤとサバタ: メキシコ革命の指導者たち (世界史リブレット人 75)	山川出版社	2014.6	開架	289/V71/Ku45
毛塚 勝利 (法), 米津 孝司 (法務), 脇田 滋 川田 知子 (法)	編 アクチュアル労働法	法律文化社	2014.4	中央書庫 / 開架	366.14/Ke67
斎藤 信治 (法務)	著 刑法各論 第4版	有斐閣	2014.3	中央書庫 / 開架	326.2/Sa25
坂田 聡 (文), 吉岡 拓	著 民衆と天皇 (高志書院選書 9)	高志書院	2014.5	開架 / 日本史	216.2/Sa37
塩沢 由典 (商)	著 リカード貿易問題の最終解決: 国際価値論の復権	岩波書店	2014.3	中央書庫	333.6/Sh79
鈴木 博人 (法)	著 養子法の研究 (日本比較法研究所研究叢書 97, 親子福祉法の比較法的研究 1)	中央大学出版部	2014.7	中央書庫 / 開架	324.63/Su96
新宮 学 妹尾 達彦 (文) [ほか]	編 近世東アジア比較都城史の諸相	白帝社	2014.2	中央書庫	220/A64
関野 満夫 (経)	著 現代ドイツ税制改革論	税務経理協会	2014.7	中央書庫 / 開架	345.234/Se37
藤平 育子 高尾 直知 (文), 舌津 智之 オニキ・ユウジ (文), 中尾 秀博 (文) ほか	編 抵抗することば: 暴力と文学的想像力	南雲堂	2014.7	中央書庫 / 英文	904/Ta48
ロレンツォ・ヴァッラ 高橋 薫 (法)	著 「コンスタンティヌスの寄進状」を論ず	水声社	2014.4	中央書庫	232.8/V24
アラン・セルジャン 高橋 治男 (名)	著 アナーキストの大泥棒: アレクサンドル・ジャコブの生涯	水声社	2014.6	中央書庫	289/J12/Se82
新堂 幸司 高橋 宏志 (法務), 加藤 新太郎	編 民事司法の現在 (実務民事訴訟講座 第1巻)	日本評論社	2014.4	中央書庫 / 市ヶ谷法務	327.2/J55
新堂 幸司 高橋 宏志 (法務), 加藤 新太郎	編 民事訴訟の提起・当事者 (実務民事訴訟講座 第2巻)	日本評論社	2014.2	中央書庫 / 市ヶ谷基本	327.2/J55
只木 誠 (法), ハラルド・パウム	編 債権法改正に関する比較法的検討: 日独法の視点から: 独日法律家協会・日本比較法研究所シンポジウム記録集 (日本比較法研究所研究叢書 96)	中央大学出版部	2014.6	中央書庫 / 開架	324.4/Ta16
土田 伸也 (法務)	著 基礎演習行政法	日本評論社	2014.4	中央書庫 / 開架	323.9/Ts26
中田 一郎 (名)	著 ハンムラビ王: 法典の制定者 (世界史リブレット人 1)	山川出版社	2014.2	中央書庫 / 開架	289/H26/N43
永見 文雄 (文), 三浦 信孝 (文), 川出 良枝 嶋子 博子 (経) ほか	編 ルソーと近代: ルソーの回帰・ルソーへの回帰: ジャン＝ジャック・ルソー生誕 300周年記念国際シンポジウム	風行社	2014.4	中央書庫 / 仏文	135.48/N15
吉田 雄子 [ほか] 中村 亨 (商)	著 ターミナル・ピギニング: アメリカの物語と言葉の力	論創社	2014.7	開架	930.29/Y86
中村 昇 (文)	著 ウィトゲンシュタイン「哲学探究」入門	教育評論社	2014.5	開架 / 哲学	134.8/W79/N37
高萩 栄一郎, 生田目 崇 (理), 奥瀬 喜之, 岡田 稔	共著 ビジネス数理基礎	ムイスリ出版	2014.3	開架	410/Ta31
本沢 巳代子, 新田 秀樹 (法)	編 トピック社会保障法 第8版	不磨書房 信山社 (発売)	2014.4	中央書庫 / 開架	364/Mo93
ペーター・ヘーベル 畑尻 剛 (法), 土屋 武	著 多元主義における憲法裁判: P.ヘーベルの憲法裁判論 (日本比較法研究所翻訳叢書 69)	中央大学出版部	2014.8	中央書庫 / 開架	327/H11
小山 剛, 畑尻 剛 (法), 土屋 武 柴田 憲司 (法) ほか	編 判例から考える憲法	法学書院	2014.5	中央書庫 / 開架	323.14/Ko97
早田 幸政 (理)	著 入門 法と憲法	ミネルヴァ書房	2014.4	中央書庫 / 開架	321/H49
升田 純 (法務)	著 名誉毀損の百態と法的責任: 判例分析からみる法理と実務	民法研究会	2014.6	開架 / 市ヶ谷法務	326.25/Ma66
松田 美佐 (文)	著 うわさとは何か: ネットで変容する「最も古いメディア」 (中公新書 2263)	中央公論新社	2014.4	中央書庫 / 開架新書	361.54/Ma74 中公新書 / 2263
山口 真美 (文)	著 赤ちゃんに学ぶ「個性」はどこから来たのか	講談社	2014.7	開架	371.44/Y24

* (法): 法学部、(経): 経済学部、(商): 商学部、(文): 文学部、(総): 総合政策学部、(理): 理工学部、(法務): 法務研究科、(会計): 国際会計研究科、(戦略): 戦略経営研究科、(研): 研究開発機構教授、(名): 名誉教授
* 配架場所は2ヶ所までとした